



# ビブリオバトル協会サポーター

## 趣意書

---

---

ビブリオバトル普及委員会  
<http://www.bibliobattle.jp>

一般社団法人ビブリオバトル協会  
<http://association.bibliobattle.jp/>



一般社団法人ビブリオバトル協会  
メールアドレス [info@bibliobattle.jp](mailto:info@bibliobattle.jp)

## ごあいさつ

2017 年はビブリオバトルにとって、生誕10周年を迎える年にあたります。2007 年の夏に生まれ 2010 年頃から徐々に全国に広まってきたビブリオバトルも、図書館や書店、多様な地域コミュニティでの楽しい一つ一つの開催を基盤としつつ、教科書への掲載や全国大会というような形で社会の中での存在感も増してきています。日本の活字文化は世界に誇る水準でありながら、一方で、スピーチや読書や知識共有を介したコミュニケーション、議論の文化は必ずしも十分に成熟しているとは言えません。私自身、縁あって、議会制民主主義や科学コミュニケーションの発祥の地イギリスに 2015 年から 2016 年の一年間滞在させていただきましたが、多くの気づきとともに、日本におけるビブリオバトル普及の意義、新しいポジティブな言語活動の醸成の意義を再認識することが出来ました。ビブリオバトル普及委員会は 2010 年に「ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させること」を目的とし 10 名ほどの有志で誕生しました。今では会員は 300 名を超え、それぞれがボランティアで各地の普及活動を様々な角度・視点・分野で支えています。また、今年からはビブリオバトル協会として法人格を得て、より社会的に信頼される存在へと歩みを進めています。一方で、ビブリオバトルそのものが皆が無料で楽しめるものであることもあり、普及委員会自体の運営資金には苦慮する状況が続いてきました。この度、この活動の趣旨をご理解いただき、支えていただける「ビブリオバトル協会サポーター」を募集させていただくことになりました。是非、世の中を一步先に進めるビブリオバトルの普及活動にサポーターとしてご支援いただけますように、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人ビブリオバトル協会  
代表 谷口 忠大(立命館大学)

## ごあいさつ

2007 年に誕生したビブリオバトルは、この 10 年間の時間のなかで、全国各地にさまざまな楽しみ方が生まれてきました。大きな規模のものとしては、高校生・大学生・社会人による全国大会が毎年恒例のイベントとして定着しています。また、図書館や学校教育、地域コミュニティなどで実施されている小規模な取り組みも、多くの事例を見ることができ成長してきました。ビブリオバトル普及委員会としても、既に広まり方の全貌を把握することもできないくらいに、身近なゲームとして定着してきたように思います。

また、ビブリオバトルのさまざまな可能性を議論する「ビブリオバトル・シンポジウム」も、2014 年から毎年開催を続けて 3 年目となりました。ビブリオバトルの普及の過程や効果的な方法を議論の俎上に載せ、お互いのアイデアを出し合うことで、ゲームのおもしろさを日々更新し続けています。さらに、その年に活躍した普及委員を表彰する「Bibliobattle of the Year」も、2016 年から始めることができました。基本的には手弁当での普及活動ではありますが、賞を設けてお互いの取り組みを称え合うことで、少しでも多くのコミュニティへと活動の根を広げていきたいと思っています。

2012 年の「Library of the Year2012」の大賞受賞、2013 年の文部科学省「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」への掲載に加え、2016 年には「文字・活字文化推進大賞」の特別賞をいただくことができました。ビブリオバトル普及委員会としても、年を追うごとにさまざまな方面からの注目度が高まっていることを感じております。

さて、昨年度に引き続きのお願いとなりますが、ビブリオバトル普及活動会を続けていくために、安定した活動資金が必要となっております。皆さまには、ビブリオバトルの普及活動を後押しするための金銭面での活動支援をお願いできればと思っております。ビブリオバトル普及委員会の活動の趣旨にご賛同をいただき、ぜひともご協力を賜れば幸いです。

ビブリオバトル普及委員会  
代表 岡野 裕行(皇學館大学)

## ビブリオバトル普及委員会活動概要

ビブリオバトルは「人を通して本を知る，本を通して人を知る」をキャッチフレーズとしたゲーム感覚を 取り入れた新しいスタイルの書評合戦です。全国の小中学校，高等学校，大学，一般企業の研修・勉強会，図書館，書店，サークル，カフェ，家族の団楽など様々な場所で開催されており，その楽しさが広く共有されています。

### 公式ルール

- 1.発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2.順番に一人 5 分間で本を紹介する。
- 3.それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2～3 分行う。
- 4.全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い，最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

この公式ルールの設定により，

- ①書籍情報共有機能
- ②スピーチ能力向上機能
- ③良書探索機能
- ④コミュニティ開発機能

の効果が期待され，また「チャンプ本」を決定するというゲーム性を持たせることで，本の選書から発表，聴講，投票に至るまで自主的に楽しみながら，誰でも気楽に取り組める仕組みになっております。

ビブリオバトル協会は，ビブリオバトルの普及を通して，世の中のコミュニケーションや知識共有，人々のつながりを活性化させることを目的とする団体です。

より多くの方々にビブリオバトルの理解を深めて頂くよう各種活動を年間通じて行っております。

### [イベント事業]

2016 年度

・超交流会(京大情報学同窓会)ブース出展及びビブリオバトル開催

<http://www.johogaku.net/sn2016/sn2016b4>

・全国大学ビブリオバトル 2016～京都決戦～ 予選会・地区決戦運営

決戦運営補助(主催 活字文化推進会議，共催 ビブリオバトル普及委員会)

<http://zenkoku.bibliobattle.jp>

・ビブリオバトル・シンポジウム 2016 仙台開催(後援:文部科学省，他)

<http://bibliobattle-symposium2016-sendai.strikingly.com/>

・ビブリオバトル・シンポジウム 2016 大阪(後援:文部科学省，他)

<http://bibsympo2016.strikingly.com/>

## [講師派遣事業]

<http://www.bibliobattle.jp/aboutus/koushihakken>

ビブリオバトルの導入を目指す団体様向けに、研修会、講演会の講師派遣を承っています。参加者のみなさんにビブリオバトルを楽しんで頂くコツや開催時の注意などを、分かりやすくご紹介しています。

## [SNS 運営]

・公式サイト運営 <http://www.bibliobattle.jp>

・Facebook グループ運営 <https://www.facebook.com/bibliobattle.official>

・公式ツイッター管理 <https://twitter.com/bibliobattle>

## [Bibliobattle of the Year 制度]

<http://www.bibliobattle.jp/bibliobattle-of-the-year>

ビブリオバトル普及委員会では、ビブリオバトルに関わるユニークな活動を発見し合い、それらの活動を多くの人に周知することで全国の活動を盛り上げていくことを目的に Bibliobattle of the Year 制度を設けました。

2016 年度の「Bibliobattle of the Year2016」大賞は、全国でオープン投票を行い、海外でビブリオバトルを開催されている「益井博史さんとソロモン諸島のみなさん」が選ばれました。

<https://www.youtube.com/watch?v=saNBe6EOg80>

Bibliobattle of the Year 2016 大賞

「益井博史さんとソロモン諸島のみなさん」受賞スピーチ(ビブリオバトルシンポジウム 2016 仙台での授賞式にて上映)

## [関連書籍出版]

2017 年 1 月現在

<http://www.bibliobattle.jp/aboutus/books>

『読書とコミュニケーション ビブリオバトル実践集』子どもの未来社  
須藤秀紹・粕谷亮美(編)



『マンガでわかる ビブリオバトルに挑戦!』さ・え・ら書房  
谷口忠大(マンガ原案・監修)沢根千尋(マンガ)粕谷亮美(文)



『ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム』文春新書  
谷口 忠大(著)



『やるぜ! ビブリオバトル』(コミュニケーションナビ 話す・聞く)鈴木出版  
谷口 忠大(監修)



『ビブリオバトルハンドブック』子どもの未来社  
ビブリオバトル普及委員会(編著)



『ビブリオバトルを楽しもうーゲームで広がる読書の輪』さ・え・ら書房  
粕谷亮美(著)谷口忠大(監修)



『ビブリオバトル入門ー本を通して人を知る・人を通して本を知る』インフォスタ  
ビブリオバトル普及委員会(著)  
吉野英知(監修)須藤 秀紹(監修)大谷 裕(監修)谷口 忠大(監修)



## [協力事業等]

各地のビブリオバトル関連行事に協力しています。

2016年度(2017年1月20日現在)

実施日	名称	種別	団体名
2016年 1月31日	ビブリオバトルをはじめよう ※中高生に対して、ビブリオバトルを紹介し、体験してもらう	後援	長浜市立図書館
2月6日, 20日 3月12日, 19日	はじめてのビブリオバトルワークショップ ※『ビブリオバトル ハンドブック』の執筆陣がファシリテーター, 4回連続開催	協力	Tokyo Biblio
3月21日	第2回 中学生・高校生のビブリオバトル	協力	池田市中央公民館
10月29日	彩の国高校生ビブリオバトル 2016	後援	埼玉県教育委員会
10月30日	高校生書評合戦 東京都大会	特別 協力	東京都 教育庁指導部
9月18日 11月6日	第3回ビブリオバトル in 八戸 ※3回目となるイベントを通じ、青森県南, 岩手県北地方での新たな活字文化の普及を目指す	後援	デーリー東北新聞社
11月13日	子どもビブリオバトル ※「北九州市生涯学習推進計画《“学びの環”推進プラン》」及び「新・北九州市子ども読書プラン」を受け、子どもに読書の楽しさを伝え、主体的な読書活動を推進する一助として開催	共催	北九州市市民文化スポーツ局八幡西生涯学習総合センター
12月11日	高校生ビブリオバトル三重県大会	後援	三重県教育委員会
12月18日	ひょうご子ども読書活動推進フォーラム事業	協力	ひょうご子ども読書活動推進フォーラム企画運営委員会
2017年 3月19日	第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま	後援	ビブリオバトル全国大会 in いこま実行委員会, 生駒市図書館

## [メディア掲載]

ビブリオバトルは各方面のメディアに取り上げられております。

<http://www.bibliobattle.jp/pu-ji-zhuang-kuang-deta>

## [普及状況]

事務局による情報収集で把握した数字だけでも毎年 1000 回 以上、実際はよく多くのビブリオバトルが開催されています。

<http://www.bibliobattle.jp/pu-ji-zhuang-kuang-deta>

更新日 2016 年 12 月 27 日(ビブリオバトル普及委員会事務局調べ)

### ①開催の広がりについての情報

開催確認/都道府県数 47 都道府県 2013 年 7 月 全都道府県での開催が確認されました!

開催確認/公立図書館 271 館

開催確認/大学数 247 大学 (カバー率 32% ※日本には 777 大学あります)

### ②普及状況

	普及委員会 会員数(人)	2014 年 開催回	2015 年 開催回数	2016 年 開催回数
合計	326	1,354	1,104	1,271

### ③ビブリオバトル首都決戦, 全国大学ビブリオバトルのデータ: 2010 年以降

	予選参加者数	予選開催数	参加学校数	本戦観覧者数
2010 年	53 名	15 回	28 校	—
2011 年	182 名	32 回	—	約 1600 名
2012 年	524 名	132 回	92 校	約 3000 名
2013 年	799 名	176 回	125 校	約 3300 名
2014 年	874 名	186 回	130 校	450 名
2015 年	914 名	181 回	98 校	450 名
2016 年	1,207 名	228 回	125 校	500 名

注:ビブリオバトル首都決戦(2010-2013 年),全国大学ビブリオバトル(2014 年一)

## [教科書への掲載]

種類	会社名	内容
出版	東京書籍株式会社	「新編 新しい国語」小学校教師用指導書別冊「読書指導のてびき」第三章「本に親しもう」[読書活動編]
出版	光村図書出版株式会社	小学校国語教科書に付随して発行する教師用指導書の一つ、「『読むこと』の授業をつくる(文学的な文章編)」において読書指導の指導案を掲載。
出版	教育出版株式会社	文部科学省検定教科書(中学校国語科)
出版	東京書籍株式会社	東京書籍株式会社発行「新編 新しい国語3」「ビブリオバトルをしよう」というタイトルの教材を掲載。平成 28 年度 4 月 1 日で通常 4 年間、採択された全国の中学校で使用。

## ビブリオバトル協会サポーター会員募集要項

### 1. ビブリオバトル協会サポーター特典

会費(年会費)種別により各種特典をご利用いただけます。(次ページの一覧表をご参照ください) 特典のご利用は年度の終わりまでです。

#### ①企業ロゴ・バナーの掲載

ビブリオバトル普及委員会公式サイト, 加えてビブリオバトル協会のトップにもロゴを掲載します。  
また、「ビブリオバトル協会サポーター」の名称を自由にお使いいただけます。



サポーター専用マークです。ご自由にご利用いただけます。

#### ②ビブリオバトル情報の受信

協会にて集約された開催レポートなどのビブリオバトル関連情報を、「ビブリオバトルニュース」としてお届けいたします。  
通常は、普及委員会の会員にならないと受信できないニュースです。

#### ③サポーター会員の紹介

- ・ビブリオバトルニュース(原則週一回会員向け発行)での、サポーター会員紹介
- ・Facebook など, 公式 SNS でのサポーター会員紹介

#### ④ビブリオバトル・シンポジウムにおけるチラシ配布

ビブリオバトル普及委員会が主催する、「ビブリオバトル・シンポジウム 2017」にて、ご希望のチラシを配布いただけます。

#### ⑤講師派遣の割引のご利用

講師派遣を協会規定の金額から割引にてご利用いただけます。割引率は会員種別により異なります。

※講師派遣の詳しいご案内を公式サイトに掲載しております。どうぞご確認ください。

<http://www.bibliobattle.jp/aboutus/koushihaken>

#### ⑥ビブリオバトル公式サイト上のPR ページのご利用

ビブリオバトル普及委員会公式サイトにあるサポーター専用ページにて、ご希望のPRなどを行っていただけます。

更新は、原則年1度の更新とさせていただきますが、それ以上のご場合はご相談ください。

#### ⑦理事・代表・考案者クラスによる講演・ワークショップ[1回]のご利用

## 2.サポーターの種別, 特典の一覧

特典有効期間 2017年4月1日～2018年3月31日

### 会費

ブロンズ会員 3万円, シルバー会員 5万円, ゴールド会員 10万円, プラチナ会員 30万円

	ブロンズ会員	シルバー会員	ゴールド会員	プラチナ会員
①企業ロゴ・バナーの掲載	○	○	○	○
②ビブリオバトル情報の受信	○	○	○	○
③公式 FB 等を通じサポーター会員の皆さまをご紹介	○	○	○	○
④ビブリオバトル・シンポジウム2017におけるチラシ配布		○	○	○
⑤講師派遣の割引		△5%	○10%	◎15%
⑥ビブリオバトル公式サイトのPR ページご利用			○	○
⑦代表クラスによる講演・ワークショップ[1回]のご利用				○

④のチラシ配布にかかる印刷や郵送料はご負担ください。

⑤の講師派遣料金は普及委員会規定となります。

⑥のページ更新は原則年間1度といたしますが、それ以上をご希望の場合も一度ご相談ください。

⑦は交通費のみ別途ご負担ください。

『読書とコミュニケーション ビブリオバトル実践集』子どもの未来社  
須藤秀紹・粕谷亮美(編)



『マンガでわかる ビブリオバトルに挑戦!』さ・え・ら書房  
谷口忠大(マンガ原案・監修) 沢根千尋(マンガ) 粕谷亮美 (文)



『ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム』文春新書  
谷口 忠大(著)



『やるぜ! ビブリオバトル』(コミュニケーションナビ 話す・聞く)鈴木出版  
谷口 忠大(監修)



『ビブリオバトルハンドブック』子どもの未来社  
ビブリオバトル普及委員会(編著)



『ビブリオバトルを楽しもうーゲームで広がる読書の輪』さ・え・ら書房  
粕谷亮美 (著) 谷口忠大(監修)



『ビブリオバトル入門一本を通して人を知る・人を通して本を知る』インフォスタ  
ビブリオバトル普及委員会 (著)  
吉野英知 (監修) 須藤 秀紹 (監修) 大谷 裕 (監修) 谷口 忠大 (監修)



ビブリオバトル普及委員会  
<http://www.bibliobattle.jp>

一般社団法人ビブリオバトル協会  
<http://association.bibliobattle.jp/>



一般社団法人ビブリオバトル協会  
メールアドレス [info@bibliobattle.jp](mailto:info@bibliobattle.jp)